

アナグマの目撃情報が増えています。エサを与えないようにしてください。

近年、私たちの生活と野生動物との距離が近くなり、アナグマなどが市街地でも目撃されています。

野生動物は、人間と暮らしを共にしているペットとは違い、自然のままに生きていくのが本来の姿です。かわいいから、めずらしいからといって近づかないでください。また、エサを与えることで、自力で生きることができなくなったり、人馴れなどが進み、生活環境や農作物への被害の誘因となったりするおそれがあることから、野生鳥獣に安易にエサを与えないようお願いします。

アナグマってどんな動物？

- ・鹿児島市内では、主に丘陵地や山地に生息
- ・頭胴長 50cm 程度のイタチ科の哺乳類
- ・体色はくすんだ褐色
足と胸はやや濃い褐色
- ・タヌキに間違われることがありますが、足がタヌキより短く、全体にずんぐりした体型をしている点で区別できます。
- ・夜行性で、土壌動物などの小動物を捕食し、森林内の地表に掘ったトンネル内で家族生活をしています。



どのように対処すればいいの？

アナグマは鳥獣保護管理法で保護されている動物なので、許可なく捕獲してはいけません。

近づかずに、以下の方法で寄せ付けないようにしてください。

- ① かわいいから・かわいそうだからと言って、エサは絶対与えないでください（餌付けをしない）。
- ② 動物のエサとなる生ゴミ・ペットフード等を外に置かないようにしてください。
- ③ 家庭菜園等は侵入されないようネットを張ってください。
- ④ 動物が住み着くような場所（床下、物置の下など）をしっかりとふさいでください。
- ⑤ 庭の収穫しない柿などの果樹は、伐採するか、管理しやすいよう縮伐するなど、動物のエサにならないよう注意してください。
- ⑥ 野生動物は臭いに対して非常に敏感です。臭いの強いもの（木酢液や竹酢液など）を直接まいたり、丸めた紙や布にしみ込ませて置いたりすると、嫌がって近づかなくなることもあります。